

令和6年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1ページ以内に収まるよう作成

団体名	アートステージ		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	ハンデのある人のアートスタンプラリーと作品展の開催		
事業の目的	ハンデのある人や引きこもりの人などの創作活動を応援し、地域との交流促進とアートを通して生き生きとした生活を実現する。		
事業概要	<p>座間市内、相模原市内の福祉施設や店舗でハンデのある人のアート作品を展示し、作品を巡るアートスタンプラリーと、ハンデのある人の作品展を実施した。</p> <p>○まちなか応援アートスタンプラリー 開催期間/開催場所：令和6年7月10日～8月10日/座間市内及び相模原市内 参加施設： ・福祉施設17箇所、店舗2か所、座間神社の計20カ所がスタンプ拠点として参加 ・3か所以上巡った人に座間神社で景品（アート作品の缶バッジ）を進呈</p> <p>○作品展 開催期間/開催場所： ・令和6年6月24日～29日：二人展実施/愛川町たまのやギャラリー ・令和6年7月10日～31日：二人展&ポップアップストア実施/座間市喫茶ランドリー ・令和6年8月4日～10日：三人展/座間神社すいめいギャラリー</p>		
成果や課題	<p>○成果 ・アートスタンプラリーは、参加拠点の拡大に伴い昨年の150%以上の106名の方が参加し、障がい福祉の啓発に大きな効果があった。 ・作品展は作者も説明し作品やグッズの売上げもあって、創作活動や生きる糧として大きな励みになった。</p> <p>○課題 ・アートスタンプラリーは、酷暑により一般市民の参加が伸び悩んだのと、拠点が拡大したことにより施設訪問の偏りが生まれ、開催時期や各拠点への誘導策などの再検討がさらに必要。</p>		
今後の展望	アートスタンプラリーは、酷暑を避けて市民が参加しやすい時期の変更と、市の福祉イベントや作品展・他団体のアート展などと連携を深めていくことで、市民への啓発拡大がさらに図れると思われる。今後市の福祉関係者と連携を密に取って本事業を展開していきたい。		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	<p>信用金庫店舗ショーウィンドウ展示風景</p> 		<p>三人展会場風景</p> 